

第 22 回日中韓財務大臣・中央銀行総裁会議

共同メッセージ(仮訳)

【2022 年 5 月 12 日 バーチャル形式】

1. 我々は、中国のリウ・クン財政部部長の議長の下、第 22 回日中韓財務大臣・中央銀行総裁会議をオンラインで開催した。
2. 我々は、現下の世界・地域経済の動向や、経済回復を支えるための政策努力について意見を交換した。地域経済は、高いワクチン接種率や、パンデミックの影響を最小化し、景気回復を支えるためのよりの絞った措置の結果、2021 年に堅調な成長を示した。しかしながら、我々は、経済の回復が、現下のロシア・ウクライナ紛争も相俟って、いくつかの先進国における予想よりも早い金融政策の正常化、サプライチェーンの混乱の継続、及び、悪化しているインフレ圧力等の不透明性やリスクの高まりに晒されていることを警戒し続けるべきである。これらの要素はまた、域内の経済見通しの下方リスクとなり、金融市場や資本フローのボラティリティーをもたらし得る。こうした中、我々は、金融の安定を維持し、長期的な財政の持続可能性を保つため、支援政策の手段を継続的に利用することにコミットする。
3. パンデミックは域内各国に傷跡を残す一方、デジタル化、グリーン・トランジション、及び域内経済の統合の機会ももたらしている。我々は、地域的な包括的経済連携(RCEP)協定発効を歓迎し、全面的に支持する。より強固で、よりグリーンで、より均衡の取れた世界的な発展を達成するため、「持続可能な開発目標のための 2030 アジェンダ」を継続的に推進すべく、中国、日本、韓国は、コミュニケーションや連携を強化するとともに、ASEAN+3 財務プロセスにおいて ASEAN 諸国と協働していく。
4. 我々は、現下、CMIM の即応性を向上することの重要性を認識する。我々は、グローバルな金融市場慣行と整合的である CMIM の新たな参照金利の採用を歓迎し、CMIM のマージン構造の見直しを行うメンバーの努力を称賛する。我々はまた、CMIM の流動性支援においてメンバーが自国通貨を活用する場合の運用ガイドラインの改訂を歓迎する。これを踏まえ、我々は、2022 年末までに運用ガイドラインをまとめることを目指して、メンバーが他国の現地通貨(第三国通貨)を供与することを可能にするための運用ガイドラインの更なる改訂に向けた進捗を歓迎する。我々は、メンバーに対し、2024 年に完了予定の CMIM 契約書の 2 回目の定期的見直しの観点から、既存の CMIM ファシリティを更に改善することを目的として、CMIM の将来的方向性に関する議論を前進させることを懇願する。加えて、我々は第 12 回テストランの成功を歓迎するとともに、CMIM の IMF デリンク部分から

IMF リンク部分への移行を検証するための第 13 回テストランに期待する。

5. 我々は、2021 年 12 月 7 日に開催された設立 10 周年の記念式典で、AMRO を祝福した。我々は、2021 年の ASEAN+3 首脳会合への AMRO のオブザーバー参加を歓迎するとともに、将来の同会合への AMRO の参加を支援する。
6. 我々は AMRO の「戦略的方向性」(SD)の見直し、及び、「地域のナレッジ・ハブ」(RKH)としての AMRO の役割を強化するために、地域のシンクタンク・ネットワークの構築を含む詳細な実施計画の策定に関する取組を支持する。我々は、AMRO のサーベイランス能力の更なる改善を称賛し、AMRO が新興・構造的課題をサーベイランス業務において主流化するとともに、金融安定の維持、経済変革の促進、持続的発展の追求を目的とする、よりのを絞った実践的な政策助言をメンバーに提供することを慫慂する。我々は、AMRO が思考面のリーダーとしての役割を発展させ、ASEAN+3 の見解を地域の声として国際的な場で反映することを慫慂する。我々は、CMIM の即応性を確保するための AMRO の支援、及び中国、日本、韓国の資金貢献の有効活用による技術支援(TA)チームの拡大及び TA 活動の強化を評価する。我々は、土井俊範所長に対し、過去 3 年間にわたる素晴らしい業績を称賛するとともに、次期所長のリー・コウチン氏と今後 3 年間、実りある連携をしていくことに期待する。
7. 我々は、「アジア債券市場育成イニシアティブ(ABMI)中期ロードマップ 2019-2022」の実施に向けた ABMI の継続的な進展を歓迎するとともに、これに関する ADB の取組を評価する。我々は、現地通貨建て債券の発行の拡大・革新に向けた信用保証・投資ファシリティ(CGIF)の努力を称賛する。我々は ASEAN+3 におけるサステナブルファイナンスに関する報告を期待するとともに、2023 年の ABMI 中期ロードマップの更新に際して提言と提案を行う、ASEAN+3 債券市場フォーラム(ABMF)の下での「ダブルミスマッチ問題」の現状の評価を行う調査の進展を歓迎する。我々は、クロスボーダー決済インフラ・フォーラム(CSIF)の下での調査、及びアジアプライム担保フォーラム(APCF)の最近の進展に留意する。
8. 我々は、ASEAN+3 の将来のイニシアティブに関するワーキンググループによるものを含む、ASEAN+3 金融協力を深化・拡大するための具体的な進展を歓迎する。我々は特に、構造的脆弱性への対応支援及び構造的問題にかかる AMRO のサーベイランス強化のための「ASEAN+3 におけるマクロ構造枠組み及びインスツルメント」の進展を支持し、災害リスクファイナンスに関し、既存の域内の取組を活用し、ASEAN+3 の新たなイニシアティブを創設することを目指して、ASEAN+3 メンバー間で詳細な検討を行うことを記載したコンセプトペーパーを認識し、また、フィン

テックに係る域内の政策協調の向上に向けた見解及び技術協力が可能な分野の提示について認識する。上記で言及した分野の3つのワーキンググループのリーダー国として、我々は、地域金融協力を促進するための具体的な成果に向けて前進することにコミットする。我々はまた、金融デジタル化とトランジション・ファイナンスの2つのイニシアティブを歓迎する。我々は、金融デジタル化の地域金融取極(RFAs)への潜在的な影響の分析が行われ将来を見据えた提言が得られることに期待するとともに、地域のメンバーの需要、懸念、及び潜在的な提言をよりよく理解するためにトランジション・ファイナンスの作業計画が実行されることを期待する。

9. 我々は、ASEAN 事務局と世界銀行の協力の下、ASEAN 諸国の災害リスクに対する財務強靱性を向上させる東南アジア災害リスク保険ファシリティ(SEADRIF)の継続した取組を歓迎する。我々はまた、SEADRIF 加盟国の拡大、及び、公共財産保護プログラムの進展を歓迎する。
10. 我々は、2022 年 ASEAN+3 財務大臣・中央銀行総裁会議の共同議長としての中国とカンボジアのリーダーシップに感謝する。また、我々は、来年開催される第 26 回 ASEAN+3 財務大臣・中央銀行総裁会議において、共同議長を務める日本とインドネシアを支援することに合意する。
11. 中国、日本、韓国は、相互及び ASEAN 諸国との協力・コミュニケーションを強化することにより、ASEAN+3 財務プロセスに積極的に参加し、主導していく。我々は、日中韓財務大臣・中央銀行総裁会議が、三か国の金融協力のための効果的な場として引き続き役割を果たすと確信し、2023 年に韓国・仁川において再会することを決定した。